

# 大雪像制作現場を激励

札幌建協 坂副会長らが陣中見舞い



坂副会長（中央右）が制作メンバーを見舞つた

同部会には札幌商工会議所建設部会から田中組、勇建設、伊藤組土建、岩田地崎建設が参加しておらず、所属する建設業団体として札幌建協が陣出見舞いに訪れた。

坂副会長と村井悟専務理事、編田和久総務課長が、制作現場を訪問。お菓子などの差し入れを手渡した坂副会長は「寒い中で大変だと思うが、体を壊さないよう注意して」と声掛けし、安全作業での完成・引き渡しを求めた。

剛会長)の坂敏弘副会長と  
村井悟専務理事が23日、  
さっぽろ雪まつり大通公園  
5丁目東会場の雪像制作現  
場を訪れ、関係者を激励し  
た。雪像づくりには、会員  
企業から4人が参加。札幌  
商工会議所建設部会の活動  
として、制作に取り組んで  
いる。

ラブレットをモチーフとしていた。札幌時計台、クラーク博士像、赤れんが庁舎を背景に、2頭のサラブレットが駆け抜けける様子を雪の瞬間に表現する。

作品は高さ11m、横幅14mで、奥行(ステージを含む)13mで、15日から制作を開始。現在の進捗率は50%ほどで、2月3日に雪像の記渡し式が予定されている。

関係者は「これから馬の顔や筋肉の立体感を出すための雪化粧の作業を行つて、

いく」と話しており、作の完成度を左右するきめかな工程に入る。建設業からは、齋藤正啓氏（岩地崎建設㈱）、木村純一（勇建設㈱）、清原章氏（藤組土建㈱）、鈴木悠貴（徳田中組）の4人が参

加 氏 伊 氏 田 品 細 界 る。

当日は、坂副会長らが制作現場を訪問。雪像制作続括員の佐藤弘氏にみかんやお菓子の入った箱を手渡し、激励の言葉をかけた。

第70回さっぽろ雪まつりは、大通会場、すすきの会場が2月4日から11日までの8日間、つどいむ会場が1月31日から2月11日までの12日間の日程で開催され

## 雪まつりの雪像制作を激励

胆振・日高こちなみ馬の象

大 建 协

31.1.24

北海道建設新聞

31.1.24

北海道通信



## 雪像制作にかかる 建設関係者と記念撮影